

災害から学ぶ リーダーシップ講座

陸の水と海の水 ～災害との向き合い方～

近年、気候変動に伴い全国的に洪水（陸の水）が頻発し、西美濃地方においてもここ数年、被害が出ています。また、地震列島とも言われる我が国は、2011年に津波（海の水）による甚大な被害を生じた東日本大震災を被っています。今後、こうした新たな水害状況と我々地域住民は如何に向き合うかを検討したいと思います。

趣旨説明

岐阜協立大学 客員教授
森 誠 一（理学博士）



プロフィール

専門：進化生態学、環境保全学。河川・道路・リニアの国交省や希少生物の環境省など行政会議委員。福井県・三重県・桑名市・岩手県大槌町の文化財審議会委員など。著書に「適応放散の生態学」（翻訳、京都大学学術出版会）、「河川ダイナミクスの生態学」（編者、朝倉書店）、「トゲウオ、出会いのエソロジー」（地人書館）など。

基調講演

【テーマ】

濃尾平野・輪中地域に培われた氾濫原共同体：

水災害と向き合う流域治水を歴史から学ぶ



名古屋大学 特任教授
田代 喬 氏

プロフィール

名古屋大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。水害・土砂災害の発災過程と減災対応、ならびに、河川・流域環境に関する基礎・応用研究に従事。土木研究所専門研究員、名古屋大学大学院環境学研究科准教授などを経て2017年4月より現職。2018年4月より2024年3月まで副センター長を兼務。専門は河川工学、応用生態工学、流域保全学、ライフライン水防災。

特別講演

【テーマ】

災害への備え、できていますか？

～明日の食卓も、家族みんなで囲めますように～



元岩手県大槌町職員
佐々木 健 氏

プロフィール

岩手県大槌町生まれ。元岩手県大槌町職員。主に生涯学習や文化財行政、総合計画策定などに携わる。震災復興に向け、避難所対応を統括しながら、文化財レスキューにも関与。2012年、第1回東北みらい賞受賞。主な著書に、「天恵と天災の文化誌（森誠一編、2012年刊）」東北出版企画（共著）など。



総合討論

申込方法

以下のいずれかの方法で申込ください

◎岐阜協立大学HPの申込フォーム

<https://www.gku.ac.jp/form/1220.html>

二次元コードはこちら→



◎E-mail:soumu2@gku.ac.jp

（件名は「12/20シンポジウム申込み」、
本文に氏名、連絡先をご記入ください）

問合先

岐阜協立大学 総務企画課
TEL 0584-77-3505 FAX 0584-77-3506

日時

2025年12月20日(土)
13時30分～16時00分

会場

岐阜協立大学北方キャンパス
4号館4101教室（予定）
〒503-8550 岐阜県大垣市北方町5-50

※アクセス方法は岐阜協立大学HPをご確認ください

【URL】<https://www.gku.ac.jp/index.html>



ともに立ち、向かう

岐阜協立大学
GIFU KYORITSU UNIVERSITY